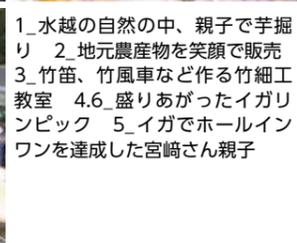


水越秋の収穫祭

10月28日、旧水越小学校グラウンドで「水越秋の収穫祭」(水越地域活性化協議会・古閑和博会長)が開催されました。午前中の里芋・サツマイモ掘り体験では、県内外から多く人が参加し、たくさんの芋を収穫しました。午後は、会場に地元農産物や加工品が並び、販売されたほか、栗のイガを使ったイガリンピックが開催。イガの遠投やホールイガワンなどさまざまなイベントで会場は盛り上がりました。福岡から家族で来た宮崎雅矢さんは「この収穫祭は、地域の人たちが力を合わせたい町おこしだと思います。また来たいです」と笑顔で話しました。



1_水越の自然の中、親子で芋掘り 2_地元農産物を笑顔で販売 3_竹笛、竹風車など作る竹細工教室 4_盛りあがったイガリンピック 5_イガでホールイガワンを達成した宮崎さん親子

復興！滝尾公民館まつり

10月28日、「復興」を掲げた滝尾公民館まつりが滝尾公民館と滝尾小学校で開催されました。滝尾公民館(甲斐克己公民館長)が主催。町地域支え合いセンターなどが協力したこのまつりは、滝尾地域や仮設・みなし仮設住宅の人たち約160人が参加しました。体育館では、ウクレレステージや色とりどりの風船でつくるバルーンアート、お楽しみ抽選会などで会場は盛り上がりました。おにぎりやだご汁などのおもてなしコーナーがあり、子どもから大人まで笑顔でまつりを楽しみました。



さまざまなイベントで大盛り上がり！

上野保育園が芋掘り体験！

10月29日、上野保育園(上村いつ子園長)の園児24人が、川口勝行さん(上野)の畑で芋掘り体験を行いました。農業体験や交流を目的としており、今年で16年目。園児たちは、地元の中山間地古閑原の役員や町民生委員・児童福祉部会の会員たちと一緒に芋を掘り、交流しました。採れた芋は甘くておいしい「紅はるか」。掘った芋は、園児たちにプレゼントされ、芋の天ぷらが振る舞われました。渡邊千晃くんは「いっぱい採れてうれしかったです。採れた芋はお母さんに料理してもらいます」と笑顔で話しました。



川口さんと笑顔に芋を掘る園児たち



▲警察官による実演指導



▲平成音楽大学生も実践

平成音楽大学で護身術講習会

10月19日、全国地域安全運動の一環で、平成音楽大学の学生に御船警察署(瀬河清信署長)生活安全課が護身術講習会を開きました。この講習会は、御船警察署としては、初の取り組み。誰でもできる簡単な護身術を約60人の学生が受講しました。学生たちは、さまざまな場面を想定した護身術を実際に体験しながら、積極的に実践しました。受講した学生からは「身を守るためにいい経験になった。日ごろの生活から旅行に行ったときなどに活かしたい」と話しました。

世界のビールが集まる！

10月27日、おしゃれなログハウスのカフェコンフィチュール(藤崎清美オーナー)で世界中のビールを集めたビール祭りが行われました。国内外合わせて11種類のビールを提供したのは、甲佐町にあるRICひらの(平野令司さん)。藤崎さんたちは、この場所で多くの人と交流し、たくさんのビールがあることを知ってもらいたいという思いで意気投合。藤崎さんは「(イベントは)楽しみがいっぱい詰まっている。交流することで“笑顔”を御船町から発信したい。また開催したい」と話しました。



世界のビールたちに乾杯〜！！



保育事業功労賞を受賞で謝辞を述べる西田保育士

第55回上益城郡保育研究大会

10月27日、町カルチャーセンターで第55回上益城郡保育研究大会(沖田昌史会長)が開催され、「復興への更なる一歩」を大会主題に上益城郡内の38の保育園が集結しました。式典では、勤続年数10年以上の職員12人が保育事業功労賞を受賞。御船町では、西田沙織保育士が受賞されました。式典終了後は、学校法人御船学園平成音楽大学こども学科の亀井裕子教授が講演会を行いました。亀井教授は「人間の基盤は今の幼児教育にある。人との関わりを大切にしてほしい」と話しました。

第40回御船ライオンズクラブ招待少年野球大会

10月28日、11月3日にかけて、第40回御船ライオンズクラブ招待少年野球大会(御船ライオンズクラブ・御船城山少年野球クラブ主催)が御船中学校グラウンドやその付近の3会場で開催されました。大会には、県内から20チームが参加し、4つのブロックで戦いました。御船町では、御船城山少年野球クラブと木倉少年野球団が出場。決勝トーナメントで惜しくも負けた木倉少年野球団の主将の江藤虎太郎くんは「今年は、精一杯頑張りましたが、3位という結果でした。来年は優勝目指して頑張りたいです」と来年への抱負を語りました。



快音を響かせる木倉少年野球団の佐川真夢くん